

## 令和元年度 看護職員確保に関するアンケート調査の結果について

横浜市では、平成 19 年から毎年、市内の病院を対象に「看護職員確保に関するアンケート調査」を実施しています。

この調査は、市内病院の看護職員の需給動向や確保の取組を把握し、本市の看護人材確保施策の検討に役立てるために実施しています。

### 【調査概要】

1. 調査目的  
横浜市市内病院の看護職員の需給動向や看護職員確保の取組を把握する
2. 調査期間  
令和 2 年 3 月 6 日～令和 2 年 3 月 31 日
3. 調査方法  
自記式調査票の郵送配布、郵送、Eメール、ファクシミリによる回収
4. 調査対象及び回収数  
対象：市内 132 病院 回収数：72 病院（回収率 54.5%）
5. 調査項目  
看護師の採用目標数、採用数、離職率、看護師確保策、横浜市への提案等

### 【調査結果のまとめと施策の方向性】

- 看護職員の採用数は、横浜市全体では、年度当初の目標数を上回っていますが、中小病院などでは、採用目標に届いていない病院が一定数ありました。
- 市外への転職者数や職員の離職率が、ここ数年増加傾向にあることから、引き続き、各病院において、離職防止に向けた取組が必要な状況にあります。
- 勤務環境の改善や手厚い看護体制を整備するため、看護補助者等の採用にかかる費用や機会の確保について、支援を要する病院が見られました。
- 横浜市では、「よこはま保健医療プラン 2018」に基づき、2025 年の医療需要に対応するため、医療従事者の新たな確保・養成に向けた取組を実施することとしています。
- 上記を踏まえ、医療人材の確保体制に不安を抱える市内の中小病院への採用・定着支援として、昨年度から実施している合同就職説明会への参加支援や復職した看護職員へのフォローアップを引き続き実施していくとともに、看護補助者等の採用によるタスクシフティングなど、医療機関の働き方改革に向けた取組支援についても、検討・実施していきます。

【調査結果のポイント】

- 1 平成 30 年度の看護職員採用数は 2,093 人で、年度当初の採用目標数 2,046 人を 47 人上回りました。一方、目標数に届かなかった病院は 24 病院でした。(問 1-1、問 1-2、問 1-3)

■平成 30 年度看護職員採用数（常勤職員数）（人） n=71 病院

【内 訳】							
総 数	新 卒		復 職		転 職		未記入等
	4 月採用	途中採用	4 月採用	途中採用	4 月採用	途中採用	
2,093	1,123	21	10	31	319	525	64

- ・採用数の内訳では、平成 29 年度に引き続き、新卒者数が転職者数を上回りました。
- ・採用目標数に満たなかった 24 病院のうち、不足数が 5 人以下と回答した病院は 18 病院、6 人から 10 人と回答した病院は 2 病院、11 人以上と回答した病院は 4 病院でした。

■採用目標数に届かなかった病院の内訳 n=24 病院

不足数	病院数	割合
1～5 人	18	75.0%
6～10 人	2	8.3%
11 人～	4	16.7%
合計	24	100.0%

- ・令和元年度の看護職員採用目標数は、1,894 人です。(問 1-4)
- ・この目標数とは別に、看護体制の強化等を図るうえでさらに看護職員を確保したいと考えている病院は 61 病院で、必要な人員は常勤換算で 384 人でした。必要な理由としては、勤務環境改善・業務負担軽減、育休・時短勤務対応、入退院支援強化、看護の質向上などがありました。(問 1-5)
- ・復職して採用された職員数は、定年や転職以外で退職した職員（医療現場から離れる職員）数に比べて、はるかに少ないことがわかりました。(問 1-2、問 1-8)

## 2 平成 30 年度の離職率は 13.4%で、前年度比+0.5 ポイントでした。(問 1-7)

### ■離職率の推移（過去の本調査結果より）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
離職率	12.5%	13.6%	13.8%	12.6%	12.9%	13.4%

【参考】神奈川県内の病院における常勤看護職員の離職率：13.4%（平成 30 年度）

「2019 年 病院看護実態調査」（日本看護協会 令和 2 年 3 月 30 日発表）

- ・退職理由としては、転職（694 人）や自身の体調不良（178 人）、出産・子育て（109 人）、介護（72 人）、進学（44 人）などがありました。また、転職先が市外である方が一定数いること（94 人）が分かりました。※転職先市内は 141 人（問 1-8）
- ・看護職員確保のために各病院が行っている対策として、看護学生向けの奨学金制度を設けている病院は 70.8%で、就職状況等が把握できた奨学生の 76.6%が、奨学金を受けた病院に就職していました。（問 2-1、問 2-3）
- ・また、57.7%の病院が実習生を受入れています。受入れ余地拡大には、学生用の休憩室・更衣室の整備（5 件）や実習指導者の育成・増員（3 件）が必要などの意見が寄せられました。（問 3-1）
- ・院内保育施設を有している病院は 57.7%ありました。そのうち、定員数に占める 1 日平均預り数の割合が 5 割未満の病院は 61.5%でした。（問 4-1）
- ・潜在看護師を対象とした復職研修を実施している病院は 34.7%でした。（問 5-1）
- ・その他、勤務環境改善や離職防止対策として、看護補助者の雇用、定年退職者の再雇用、教育・研修の充実、時短勤務や夜勤免除による負担軽減等、様々な取組が行われています。（問 8-1）

## 3 看護職員の募集手段については、98.6%の病院が自院ホームページに採用情報を掲載しており、79.2%の病院が民間有料事業者を活用していました。(問 6-1)

- ・ハローワークを活用している病院は 70.8%で、e ナースセンターを活用している病院は 55.6%、求人情報誌を活用している病院は 48.6%でした。
- ・昨年度、本市から地方合同就職説明会に出展いただいた病院からは、今後も、継続して事業を行ってほしいという意見がありました。
- ・その他、看護師以外に、看護補助者の採用が困難であるとの意見がありました。

## 令和元年度 看護職員確保に関するアンケート調査結果

### 調査概要

1. 調査目的 横浜市内病院の看護職員の需給動向や看護師確保の取組を把握するため
2. 調査期間 令和2年3月6日～令和2年3月31日
3. 調査方法 自記式調査票の郵送配布、郵送、Eメール、ファクシミリによる回収
4. 調査対象及び回収数 対象：市内132病院 回収数：72病院（回収率54.5%）

※割合については、小数点第二位を四捨五入しているため、100にならない統計もあります。

### アンケート回答部署（全体）

回答部署	回答数	割合
看護部署関連	35	48.6%
事務部署関連（事務、総務等）	28	38.9%
人事関連（職員課、人事課等）	7	9.7%
未記入等	2	2.8%
合計	72	100.0%

## 【問1】職員の雇用状況に関すること

### 問1-1 常勤職員の採用について伺います。

平成30年度の当初採用目標数と採用実績数について、総数及びその内訳をお聞かせ下さい。

総採用目標数	総採用実績数	実績と目標の差
2,046人	2,093人	47人

目標に届かなかった病院数
24/71

n=71病院

	総 数	【内 訳】採用を必要とした理由			
		退職者補充のため	退職者補充以外の理由		その他・不明
			勤務環境の改善や働き方改革対応のため	機能拡充や増床対応のため	
[常勤職員]					
採用目標数 (a)	2,046人	1,524人	170人	156人	196人
採用実績数 (b)	2,093人	1,562人	170人	161人	200人
実績と目標の差 (b - a)	47人	38人	0人	5人	4人

### 問1-2 平成30年度の看護職員採用実績（常勤）について、採用時期をお聞かせ下さい。

[常勤職員]	総 数	【内 訳】						未記入等
		新 卒		復 職 ※		転 職 ※		
		4月採用	途中採用	4月採用	途中採用	4月採用	途中採用	
採用実績数 ※問1-1の(b)	2,093人	1,123人	21人	10人	31人	319人	525人	64人

※「復職者」：前職から1年以上経過して再就職された方

「転職者」：前職後1年未満で再就職された方

### 問1-3 問1-1の常勤職員の採用に関して、採用実績数が採用目標数に届かなかった

病院にお聞きします。生じた差に対して、どのように対応していますか。（複数回答可） n=24病院

選択肢	回答数	割合
ア) 現員の職員で対応している。	21	87.5%
イ) 非常勤職員等を雇用し、対応している	20	83.3%
ウ) 対応をしていない	3	12.5%
エ) その他（追加で採用を実施した等）	5	20.8%

（参考）採用目標数に届かなかった病院の不足状況

不足状況	病院数	割合
1人～9人	20	83.3%
10人～	4	16.7%
合計	24	100.0%

問1-4 令和元年度（今年度）の看護職員採用目標数（常勤職員数）を御記入下さい。

採用目標数	1,894	人
-------	-------	---

n=68病院

問1-5 令和元年度の採用目標数とは別に（人件費を考慮しない場合など）、看護体制の強化等を図るうえで、常勤換算であと何人看護職員が必要だと考えますか。 n=61病院

	看護師	准看護師	助産師	その他 (保健師等)	合計
必要人数を御記入下さい。	352人	6人	26人	0人	384人

看護職員が必要な理由を具体的に記載して下さい。

- ・勤務環境改善、働き方改革対応、業務負担軽減：32件  
（夜勤・土日勤務体制の充実・回数軽減、休暇取得促進）
- ・配置基準確保：7件
- ・育休、時短勤務対応：4件
- ・入退院支援強化：3件
- ・病床機能の転換、新病床の稼働：1件
- ・地域連携強化：1件
- ・看護の質の向上：6件
- ・退職者補充：4件
- ・介護職欠員分の補充：2件
- ・教育体制の充実：1件

問1-6 平成30年度末（平成31年3月31日）時点での看護職員数を御記入下さい。

	看護師	准看護師	助産師	その他 (保健師等)
常勤職員数	11,126 人	453 人	440 人	143 人
非常勤職員数	1,209 人	177 人	48 人	14 人
常勤換算	11,820.4 人	567.0 人	466.5 人	154.1 人

n=61病院

※常勤換算は「常勤職員数」と「非常勤職員数の常勤換算」の合計を記入してください。

また、下記の厚生労働省「病院報告」調査に準じて計算してください。

従事者の1週間の勤務時間
医療施設で定めている常勤者の1週間の勤務時間

問1-7 平成30年度の看護職員退職者数等を御記入下さい。

n=69病院

	総数	【内訳】		未記入等
		常勤	非常勤	
平成30年度退職者数	1,954 人	1,648 人	294 人	12 人
平成30年4月1日在職者数	14,013 人	12,502 人	1,394 人	117 人

平均離職率（常勤職員）	13.4 %
-------------	--------

問1-8 問1-7について、常勤看護職員の退職理由を教えてください。

《常勤看護職員の退職理由》

(重複回答可)

選択肢	回答数	割合
定年	71	4.4%
転職	694	42.6%
出産・子育て	109	6.7%
介護	72	4.4%
進学	44	2.7%
ご自身の体調不良	178	10.9%
その他	420	25.8%
不明	40	2.5%
合計	1628	100.0%

【転職先】694  
市内：141  
市外：94  
不明：387  
未記入：72

## 【問2】奨学金に関すること

問2-1 看護学生向けの奨学金制度を設けていますか。

選択肢	回答数	割合
ア) はい	51	70.8%
イ) いいえ	20	27.8%
未記入等	1	1.4%
合計	72	100.0%

(「ア) はい」と回答した病院のみ回答)

平成30年度は、合計何人に奨学金を助成しましたか。

助成実績のあった病院数	37病院
総助成人数	704人
1病院あたり平均助成人数	19.0人
1病院あたり平均月額助成額	6.3万円

問2-2 問2-1で「はい」と回答した病院に伺います。

奨学金制度について、返済の免除措置を設けていますか。

選択肢	回答数	割合
ア) 病院に一定年数勤務すれば、奨学金が全額免除となる	43	84.3%
イ) 病院に一定年数勤務すれば、奨学金が一部免除となる	6	11.8%
ウ) 免除はない	0	0.0%
未記入等	2	3.9%
合計	51	100.0%

問2-3 問2-1で「はい」と回答した病院に伺います。

貴院の奨学生について、平成30年度の貴院への就職状況を御記入下さい。

総奨学生数	704人	
就職状況等把握学生数	491人	
・自院への就職者数	376人	76.6%
・自院外への就職・進学者数	115人	23.4%
未記入等	1人	

### 【問3】実習生の受入れに関すること

問3-1 看護専門学校等（大学も含む）からの実習生の受け入れを行っていますか。

選択肢	回答数	割合
ア) はい	41	57.7%
イ) いいえ	30	42.3%
合計	71	100.0%

1病院あたり平均延べ受入れ人数	1,308.1	n=41病院
1病院あたり平均延べ受入れ学校数	4.5	

追加受入れ可能な病院数	5	n=5病院
平均追加受入れ可能人数	49.2	

受入れの余地を増やすために必要なことがあればご記入ください。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生用の更衣室・休憩室など、ハード面でのスペースの確保：5件</li> <li>・実習指導者の育成・増員：3件</li> <li>・受け入れ希望学生の紹介：1件</li> </ul>	

実習生の受入れについて「いいえ」と回答した病院に、今後について伺います。

選択肢	回答数	割合
ア) 受入について現在検討している	3	10.0%
イ) 現時点では検討していない	26	86.7%
未記入等	1	3.3%
合計	30	100.0%

ア) 受入について現在検討している → 検討内容について御記入ください	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度から受入れ予定</li> <li>・実習の種類を絞って調整していく方向で検討中</li> </ul>	
イ) 現時点では検討していない → 理由等あればご記入ください	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の指導体制が整っていない、看護師体制整備中のため：9件</li> <li>・単科病院などであるため、実習ニーズがないと判断：3件</li> <li>・実習施設として環境・設備が整っていない：1件</li> <li>・日々の業務が忙しく指導する時間がない：1件</li> </ul>	

## 【問4】院内保育に関すること

問4-1 院内保育施設はありますか。所有する場合は、定員数等（あ）～（お）も御記入下さい。

選択肢	回答数	割合
ア) ある（病院所有）	41	57.7%
イ) ある（病院所有ではなく、特定の保育所と契約）	2	2.8%
ウ) ない	28	39.4%
合計	71	100.0%

「ア）ある（病院所有）」における院内保育の状況

(あ) 平均定員数	直営：17病院	24.4人	n=37病院 n=33病院
	委託：22病院	28.3人	
	未記入等：2病院	-	
(い) 平均在籍数（平成31年3月31日時点）		24.7人	
(う) 1日平均預り数（平成30年度）		12.1人	
(え) 所有形態	単独所有：34病院		
	他院等々との共同所有：5病院		
	未記入等：2病院		

「ア）ある（病院所有）」における院内保育の充足率（定員数に占める1日平均預り数の割合）

充足率	回答数	割合
75%～100%	2	5.1%
50%～74%	13	33.3%
25%～49%	12	30.8%
25%未満	12	30.8%
合計	39	100.0%

「イ）ある（病院所有ではなく、特定の保育所と契約）」における院内保育の状況

平均契約保育児数	22.5
----------	------

問4-2 問4-1で ア)または イ)と回答した病院に伺います。  
週に何日行っていますか。

一週間の平均開所日数	5.9	n=42病院
------------	-----	--------

問4-3 問4-1で ア)または イ)と回答した病院に伺います。  
24時間保育等について、現在行っている内容に○を付けてください。

●24時間保育は行っていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) 行っている 週平均実施日数：2.6日	30	69.8%
(イ) 行っていない	12	27.9%
未記入等	1	2.3%
合計	43	100.0%

●病児保育は行っていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) 行っている 週平均実施日数：5.0日	2	4.7%
(イ) 行っていない	36	83.7%
未記入等	5	11.6%
合計	43	100.0%

●病後児保育は行っていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) 行っている 週平均実施日数：3.0日	2	4.7%
(イ) 行っていない	36	83.7%
未記入等	5	11.6%
合計	43	100.0%

問4-4 問4-1で ウ)（院内保育施設がない）と回答した病院に伺います。  
院内保育施設の設置意向はありますか。

選択肢	回答数	割合
ア) 設置する予定はある	0	0.0%
イ) 予定は立っていないが、設置したい意向はある	10	35.7%
ウ) 設置の考えはない	17	60.7%
未記入等	1	3.6%
合計	28	100.0%



**問4-5** 問4-4で イ)と回答した病院に伺います。  
 予定が立っていない理由に○を付けてください。(複数回答可) n=10病院

選択肢	回答数	割合
ア) 設置場所がない	9	90.0%
イ) 設備や維持の費用捻出が難しい	6	60.0%
ウ) 対象となる利用者が少ない	3	30.0%
エ) その他(保育士の確保が困難)	0	0.0%

**問4-6** 院内保育等のほか、貴院が看護職員の子育てや介護支援のために行っていることはありますか。

選択肢	回答数	割合
ア) はい	67	93.1%
イ) いいえ	3	4.2%
未記入等	2	2.8%
合計	72	100.0%

「ア」「はい」と回答した病院の取組内容 (複数回答可) n=67病院

選択肢	回答数	割合
職員がベビーシッターを雇用する際の補助	3	4.5%
職員が家事などのヘルパーを雇用する際の補助	0	0.0%
自家用車での通勤及び駐車場の優先利用の許可	34	50.7%
勤務時間の短縮や夜勤免除など、勤務条件の緩和	64	95.5%
その他	10	14.9%

※1回答で複数の内容が含まれていたり、具体的な記載がない回答もあるため、必ずしも回答数と一致しません。

- ・保育料の補助、保育園を利用している職員への手当支給：4件
- ・育児に関する支援制度の説明や育児に関する相談を受付けている
- ・子育て中の職員の相互交流を促進する機会創出
- ・病児保育室利用者への助成
- ・授乳時間や食事時間を設けている
- ・子どもが小児病棟に入院できる
- ・勤務時間中の食事を提供している
- ・他病棟などから、ヘルプ体制がとれるようにしている
- ・時間有休休暇制度導入

「(イ) いいえ」と答えた病院に、今後について伺います。

選択肢	回答数	割合
(あ) 必要と考え、内容も検討している	0	0.0%
(い) 現時点では、必要と考えていない	2	66.7%
未記入等	1	33.3%
合計	3	100.0%

## 【問5】復職やキャリア支援に関すること

問5-1 潜在看護師対象の復職研修を行っていますか。

選択肢	回答数	割合
ア) 行っている	25	34.7%
・単独実施：10病院 ・他院と連携して実施：14病院		
・未記入等：1病院		
イ) 行っていない	47	65.3%
合計	72	100.0%

問5-2 問5-1で イ) と回答した病院に伺います。

もし貴院が研修を行うとしたら、行政や関係機関に、どのような支援を希望されますか。

n=47病院

選択肢	回答数	割合
(ア) 講師の派遣	11	23.4%
(イ) 研修プログラムの提供	15	31.9%
(ウ) 研修参加者確保への協力（広報等）	19	40.4%
(エ) 研修を行う必要性が無い	10	21.3%
【理由】		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の機能及び規模において必要性を感じていないため</li> <li>・複数回開催したものの、応募者がいなかったため</li> <li>・復職支援を経て入職する看護師のほとんどが非常勤雇用を希望するため</li> <li>・行政が実施する外部研修を受講させているため</li> <li>・新人看護師の採用で、人員確保ができているため</li> </ul>		
(オ) その他	6	12.8%
※1回答で複数の内容が含まれていたり、具体的な記載がない回答もあるため、必ずしも回答数と一致しません。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所、設備、マンパワーの提供：2件</li> <li>・事務や設営など庶務・周辺業務に対する支援</li> </ul>		

問5-3 看護職員のキャリアアップのための取組を行っていますか。行っている場合は、その内容について教えてください。

n=72病院

選択肢	実施	今後検討	しない	未記入等
ア) 資格取得のための支援	56	8	4	4
イ) 院内の研修の実施	60	6	2	4
ウ) 講演会、学会等への参加支援	61	5	1	5
エ) 学会等での発表実施の支援	47	13	8	4
オ) 他院の認定看護師等による研修や講演の実施	25	20	18	9
カ) その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアコンサルタントによる個別のキャリア相談事業を開始予定</li> <li>・自施設のクリニカルラダーを作成中</li> <li>・勤務の職免や、研修参加及び資格取得のための費用の一部を負担</li> <li>・専門看護師、認定看護師、特定看護師、教育担当によるラダー別研修、キャリア面接の実施</li> <li>・カウンセラーとの面談</li> <li>・神奈川県看護協会の教育研修に年間十数名を参加</li> </ul>			

## 【問6】採用方法に関すること

問6-1 看護職員の採用方法について教えてください。

募集の手段として活用しているものはどのようなものがありますか。(複数回答可) n=72病院

選択肢	回答数	割合
ア) 自院ホームページへの採用情報の掲載	71	98.6%
イ) eナースセンター(県看護協会運用の職業紹介システム)への掲載	40	55.6%
ウ) 民間の有料職業紹介事業者	57	79.2%
エ) ハローワークの利用	51	70.8%
オ) 求人情報誌への採用情報の掲載	35	48.6%
カ) その他	11	15.3%

※1回答で複数の内容が含まれていたり、具体的な記載がない回答もあるため、必ずしも回答数と一致しません。

- ・看護学校での説明会実施、参加：3件
- ・就職情報サイトへの掲載：2件
- ・職員による紹介
- ・駅に求人広告を掲載
- ・合同就職説明会への参加
- ・ポスティング
- ・インターンシップ

## 【問7】退職時の届出制度に関すること

問7-1 退職する職員に対し、「離職看護師等の届出制度」に関する情報(届出サイト「とどけるん」)について、個別にお知らせしていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) はい	48	66.7%
(イ) いいえ	24	33.3%
合計	72	100.0%

問7-2 病院として、神奈川県ナースセンターが運営する「eナースセンター」に登録をしていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) はい	48	66.7%
(イ) いいえ	23	31.9%
未記入等	1	1.4%
合計	72	100.0%

問7-3 問7-2で「(ア) はい」と回答した病院に伺います。

病院として、職員の退職時に「eナースセンター」を活用した代行届出を行っていますか。

選択肢	回答数	割合
(ア) はい	10	20.8%
(イ) いいえ	38	79.2%

※1回答で複数の内容が含まれていたり、具体的な記載がない回答もあるため、必ずしも回答数と一致しません。

【理由】

- ・本人に説明し、届出については本人の意志に任せている：10件
- ・退職時に次の転職先が決まっている：8件
- ・制度自体を知らない。利用方法が不明：2件
- ・院内の体制が取れていない：2件
- ・事務作業が負担：2件
- ・個人情報と考え、登録は個人に任せている
- ・努力義務のため

合計	48	100.0%
----	----	--------

## 【問8】看護職員確保策に関すること

問8-1 ①看護職員確保のために行っている対策、②行っている対策のうち、更に力を入れたい対策、  
③現在、行っていないが関心がある対策に○を付けて下さい。(複数回答可)

n=72病院

項目	行っている対策		(内数) 更に力を入れたい対策		現在、行っていないが、関心がある対策	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
(1) 院内保育所の設置	39	(54.2%)	7	(9.7%)	9	(12.5%)
(2) 院内学童保育所の設置	5	(6.9%)	3	(4.2%)	15	(20.8%)
(3) 病児保育の実施	7	(9.7%)	2	(2.8%)	17	(23.6%)
(4) 病後児保育の実施	1	(1.4%)	2	(2.8%)	17	(23.6%)
(5) 教育・研修の充実	48	(66.7%)	27	(37.5%)	2	(2.8%)
(6) 寮などの施設の充実	37	(51.4%)	4	(5.6%)	7	(9.7%)
(7) 短時間勤務制度	60	(83.3%)	3	(4.2%)	0	(0.0%)
(8) 夜勤免除	66	(91.7%)	0	(0.0%)	0	(0.0%)
(9) 夜勤専従者の配置	50	(69.4%)	0	(0.0%)	7	(9.7%)
(10) 保育料の助成	21	(29.2%)	0	(0.0%)	10	(13.9%)
(11) 手厚い看護体制の整備	27	(37.5%)	24	(33.3%)	4	(5.6%)
(12) 潜在看護師の採用	21	(29.2%)	8	(11.1%)	6	(8.3%)
(13) 勤務年数ごとに特別休暇を提供	18	(25.0%)	1	(1.4%)	12	(16.7%)
(14) 定年延長の実施	23	(31.9%)	3	(4.2%)	10	(13.9%)
(15) 定年退職者の再雇用の実施	58	(80.6%)	4	(5.6%)	1	(1.4%)
(16) カウンセラー(相談窓口)の設置	32	(44.4%)	2	(2.8%)	8	(11.1%)
(17) 離職防止コンサルティングの雇用	1	(1.4%)	0	(0.0%)	17	(23.6%)
(18) 奨学金制度の実施	49	(68.1%)	6	(8.3%)	4	(5.6%)
(19) 地方で開催される合同就職説明会への参加	25	(34.7%)	4	(5.6%)	7	(9.7%)
(20) インターネットやSNS等を活用した職員募集	47	(65.3%)	19	(26.4%)	3	(4.2%)
(21) 広告等での病院知名度アップ	30	(41.7%)	9	(12.5%)	6	(8.3%)
(22) 看護学校への訪問・DM発送	34	(47.2%)	6	(8.3%)	6	(8.3%)
(23) 看護学校の設立	9	(12.5%)	1	(1.4%)	5	(6.9%)
(24) 体験型職場見学の実施	37	(51.4%)	7	(9.7%)	7	(9.7%)
(25) EPA(外国人看護師候補者の受入れ)	7	(9.7%)	0	(0.0%)	9	(12.5%)
(26) 特定看護師の配置	20	(27.8%)	2	(2.8%)	12	(16.7%)
(27) 認定・専門看護師資格の取得支援	40	(55.6%)	6	(8.3%)	9	(12.5%)
(28) 医療クラークの配置	48	(66.7%)	8	(11.1%)	6	(8.3%)
(29) 有料職業紹介事業者からの斡旋	41	(56.9%)	1	(1.4%)	0	(0.0%)
(30) 看護補助者の雇用	55	(76.4%)	25	(34.7%)	0	(0.0%)
(31) 神奈川県医療勤務環境改善支援センターの活用	3	(4.2%)	1	(1.4%)	12	(16.7%)
(32) 復職者向けのフォローアップ研修の実施	17	(23.6%)	4	(5.6%)	9	(12.5%)
(33) コンサルタント等の活用(広報・採用、給与・人事評価等)	6	(8.3%)	1	(1.4%)	10	(13.9%)
(34) 看護師養成校からの実習生受入体制の強化	26	(36.1%)	2	(2.8%)	10	(13.9%)

**問8-2 看護職員確保に関して、横浜市への御提案があれば御記入下さい。**

**【人材確保・育成に関すること】**

・採用にかかる経費の補助金、又は就職説明会のブース確保等してもらいたい。
・看護学生の合同就職説明会に、横浜市のブースとして出展した。 企業の合同就職説明会は高額であると同時に、大学病院・総合病院等の出展が多く、 中小病院ではブース来場人数も多くは獲得出来ないため、出展をあきらめざるをえない。 このような機会を増やしてもらえると助かる。
・介護福祉士の雇用を推進したい。
・外国人雇用の支援があるといい。
・横浜市中小病院看護師採用支援事業(看護学生合同就職説明会への横浜市ブースの出展) を次年度も継続してほしい。
・民間の有料職業紹介事業所を通しての応募が多いが、手数料が高く、経営を圧迫している。 求職者が、公共の職業紹介所へ登録しやすいようにし、広報活動も強化してほしい。□
・奨学金制度やハローワークの活動を充実させてほしい。
・仕事内容をあまり知られていない看護補助者の応募を増やすため、 合同就職説明会を開催するなどしてほしい。
・看護師確保よりも看護補助者の確保が困難。確保対策に対する補助などを検討してほしい。

**【保育に関すること】**

・公的医療機関での病児保育の充実をお願いしたい。
--------------------------

**【看護学生・実習に関すること】**

・看護学生の受入れを多数行なっているが、他院へ就職してしまう。 実習病院への就職を推進するよう働きかけてもらいたい。
---

**【その他】**

・精神科看護職員配置基準を見直してほしい。
-----------------------